

令和5年第2回

羅臼町教育委員会議事録

令和5年第2回羅臼町教育委員会

1 日 時 令和5年2月22日(水) 13時30分～14時55分

2 場 所 羅臼町役場3階第5・6会議室

3 出席者

教育長	石 崎 佳 典
委 員	萬 屋 志都子
委 員	葛 西 良 浩
委 員	佐々木 美 穂
教育指導主幹	横 澤 英 三
学務課長	平 田 充
社会教育課長	野 田 泰 寿
総務管理係	黒 田 一 気

4 欠席者

委 員	芦 崎 拓 也
-----	---------

5 傍聴者 なし

6 議 題

議案 第4号 羅臼町教育大綱の改訂について

議案 第5号 令和4年度一般会計予算補正について

報告 第3号 諸会議・諸行事について

7 その他

(1) 教育指導主幹通信について

【開 会】

○石崎教育長

それでは、これより令和5年第2回教育委員会を開催いたします。

一昨日、若干天候が荒れ心配しましたが、比較的穏やかな天候で安心しており、各幼稚園や学校から新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザの感染者の報告もなく、落ち着きを見せているところです。

また、流氷シーズンを迎え、町内に外国人観光客の姿が多くみられるようになり、週末は道の駅でキッチンカー10台が集まるイベントが開催され、道の駅前には非常に賑わいを見せていたと聞いております。

徐々にではありますがコロナ禍から日常を取り戻しつつあると感じているところですが、それぞれの感染対策は継続していかなければならない状況であり、これから訪れる春に向けて、コロナの終息を願うばかりであります。

それでは、本日の教育委員会よろしくお願ひいたします。

本日、芦崎委員が欠席されておりますが、委員の半数以上の出席がありますので会議は成立といたします。

本日の議事録署名委員につきましては、萬屋委員と葛西委員にお願ひいたします。

本日の議題は、協議事項として、議案第4号「羅臼町教育大綱の改訂について」、議案第5号「令和4年度一般会計予算補正について」、報告事項として、報告第3号「諸会議・諸行事について」の3件となっております。

なお、本日は会議終了後、今後整備し羅臼町図書館となる旧釧路信用組合羅臼支店の現地視察を行いますのでお願ひいたします。

それでは、議事に入る前に、私より6点の行政報告をさせていただきます。

一点目は、コールリンデンバウム結成30周年記念演奏会についてです。

2月12日、羅臼町の混声合唱団でありますコールリンデンバウムの結成30周年演奏会が羅臼小学校を会場に開催され、約30名の団員が115名の来場者の前で合唱を披露しました。

二点目は、別海町教育委員会教育長の退任についてです。

既に新聞報道もありましたが、別海町教育委員会の登藤教育長が1期3年間の任期満了により、2月15日に退任されました。

後任につきましては、別海町教育委員会で教育主幹を務められていた、相澤要氏であります。

任期は令和5年2月16日から3年間となっております、相澤氏におかれましては、平成28年から2年間、羅臼中学校の校長としてご在籍されていたことから、ご存じの方もいるかと思いますがご報告とさせていただきます。

なお、任期は令和5年2月16日から3年間となっています。

三点目は、図書館の職員体制についてです。

令和5年度からの図書館司書1名の増員を予定しており、現在募集中です。

次年度からは図書館司書2名、会計年度任用職員2名の4名体制を計画しており、体制について動きがありましたら改めてご報告させていただきます。

四点目は、令和5年度予算報道発表についてです。

2月27日に令和5年度羅臼町予算報道発表が予定されており、次年度の羅臼町の一般会計総額は54億5千2百67万4千円で、前年比1億8千2百57万8千円増の103.5%ととなります。

令和5年度の教育予算は4億2百44万9千円で前年比5百33万4千円減の98.7%となっており、町予算に対する構成比は約7.4%となっております。

予算については3月7日からの羅臼町議会定例会及び予算特別委員会で審議されることとなります。

なお、整備する図書館の工事請負費は当初予算に計上せず、年度途中の予算補正による対応で進めております。

五点目は、羅臼高校の生徒の公立大学合格についてです。

この春卒業の羅臼高校生2名が国公立大学に合格しました。

当町の高校支援事業により2名に対し、30万円の入学祝金が贈呈されることとなり、2月28日、羅臼高校において全校生徒の前で町長から目録の贈呈を行うよう調整中となっております。

六点目は、卒業式についてです。

3月1日に举行される羅臼高校卒業式に来賓案内を頂きました。

コロナ禍により案内を頂くのは数年ぶり、町長にも案内を頂いております。

当日、私は所用により不在ですので、教育委員会からは横澤主幹に代理出席をして頂くこととなっております。

幼稚園、小学校、中学校につきましては昨年同様、来賓案内はしないこととなっておりますので併せてお知らせいたします。

卒業式でのマスクの着用についてですが、国の指針に則り、式典では参加する児童生徒、教員はマスクを着用しないことを基本とし、国歌斉唱や校歌斉唱、呼びかけなどの場面では着用として、来賓、保護者等についてはマスクを着用して参列するという事で卒業式を举行することを確認しております。

なお、マスクを着用しないことについては、参加する児童生徒のそれぞれの状況もありますので、強制するものではないということとなっておりますので、その点についても確認がされております。

以上、行政報告といたします。

それでは、議事に入ります。

【議 事】

●議案 第4号 羅臼町教育大綱の改訂について

○石崎教育長

それでは、議案第4号「羅臼町教育大綱の改訂について」、担当課長より説明をお願いします。

○学務課長

議案第4号「羅臼町教育大綱の改訂について」、説明いたしますので、議案1ページをご覧ください。

本議案については羅臼町教育大綱を別紙のとおり改訂したいので意見を求めるものでございます。

別紙の「羅臼町教育大綱＝魚の城下町らうす＝」をご覧ください。

表紙をめくると「目次」となっており、それぞれの項目にページ数が記載されておりますが完成時には項目ごとにページ数を記載いたします。

次のページは「はじめに」として、上段に町長の想いが記載されております。

下段には「大綱の策定について」として3点記載されており、重要ですので読み上げさせていただきます。

一点目は、「大綱の性格」となっており、「この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1号の3第1項の規定に基づき、羅臼町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、そのめざす姿や施策の根本となる方針を定めるものです。」と定義しております。

二点目は、「大綱の構成」となっており、「羅臼町民憲章及び羅臼町の教育目標を基にした『羅臼町の基本方針』を以て大綱とし、『3つの柱』である『子どもひとり一人の可能性を引き出す教育の推進』、『学びの機会を保障し、質を高める環境の確立』、『地域と歩む持続可能な教育の実現』の取組みを示しています。」ということで構成を記載しております。

三点目は、「大綱の対象期間」となっており、「北海道教育大綱の対象期間に準じ、本大綱から期間を定めず、必要に応じて改定するなどの対応をいたします。」ということで今回の改訂としております。

次のページから羅臼町教育大綱の具体的な内容について記載されておりますが、最終ページの「羅臼町教育大綱体系図」にて内容を説明させていただきますので、最終ページをご覧ください。

大綱改訂の背景として、子どもたちや教育の現状として、人口減少や少子高齢化の進行、情報技術やグローバル化の進展、産業構造の変化、経済格差の拡大や二極化などに

より、人々の価値観や生活様式、ワークスタイルが大きく変わり従来の知識や経験だけでは様々な物事について、解き明かすことや見出すことが難しい時代となっていることから、子どもたちが、未来において様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくためには、自らの良さや可能性を認識し、自己肯定感を高めていくとともに、すべての人を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しあいながら持続可能な社会の創り手として成長できるよう、関係機関等と一体となりながら様々な施策を推進していく必要があると認識しております。

また、学校教育にとどまらず社会教育や生涯学習を含めたあらゆる場面での教育活動において、SDGs 実現のカギとなる教育、ESD を推進し、持続可能な社会の実現を目指すことが必要ことから、羅臼町教育の基本方針を羅臼町が目指す教育の基本方針とし、その上で、人口減少社会やグローバル化の進展など、社会情勢の変化や様々な教育課題を踏まえた当町の将来の担う子どもたちが、生まれ育った地域や環境、障がいの有無に関わらず、夢と希望にあふれ健やかに成長できるよう、改訂後の教育大綱において羅臼町が目指す教育の基本方針を2点示しております。

体系図にもどりますが、左から「羅臼町民憲章」、「羅臼町教育目標」があり、体系図中央に「教育大綱」による羅臼町が目指す教育の基本方針2点が示されております。

一点目は、「自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む」として、さらに、「知床羅臼町の豊かな自然、独自の歴史や文化への理解を深めながら、社会の変化に対応し、生涯にわたって生き抜く力を身に付け、自立の精神にあふれ、自分の良さや可能性を見だし、夢や目標の実現に向けて挑戦しながら、羅臼町はもとより国内外で活躍する人を育みます。」としております。

二点目は、「ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支えあう人を育む」とし、さらに、「生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、よりよい社会の実現に貢献しようとする主体性と責任感、規範意識などの倫理観、人間尊重の精神や思いやりの心を持って、お互いを尊重し、共に支えあいながら、持続可能な地域づくりを支える人を学校・家庭・地域との連携の下、知床羅臼町の町民総掛かりで育みます。」としております。

続いて、2点の基本方針を実現するための具体的な取組みを「3つの柱と取組み」として体系図の右側に示しております。

3つの施策の柱として「子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進」、「学びの機会を保障し、質を高める環境の確立」、「地域と歩む持続可能な教育の実現」とし、それぞれの柱の具体的なとりくみを記載しています。

主な取組みとして、「子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進」では、「幼・小・中・高一貫教育」、「幼児教育の充実」、「特別支援教育の推進」、「キャリア教育の推進」、「ふるさと教育の充実」、「グローバル人材の育成」としています。

次に、「学びの機会を保障し、質を高める環境の確立」では、「ICTの活用推進」、「いじめ防止の取組み充実」、「働き方改革の推進」などとしております。

最後に、「地域と歩む持続可能な教育の実現」では、「地域と学校の連携・協働の推進」、「生涯学習・社会教育の振興」、「芸術文化活動の推進」などとしております。

なお、本大綱へ改訂後は、北海道の教育大綱改訂時や学習指導要領の改訂に伴い、当町の方針の変更や取組みの変化が見られたときに次の改訂について協議・検討することとしたいと考えております。

以上、3期目の教育大綱の改訂にあたり教育委員会へ上程し、ご意見を求めるものでございます。

私からは以上です。

○石崎教育長

議案第4号「羅臼町教育大綱の改訂について」について、ご意見、ご質問はありますか。

○佐々木委員

教育大綱の考え方が及ぶ範囲を再度確認させて頂きたい。

子どもたちに対する学校教育や、社会教育活動などにおける教育委員会の取組みが主となりますか。

生涯学習という面で、「こまぐさ学級」などの取組みも行われていると思いますが、こちらも教育大綱の考え方が反映されるという認識で間違いはないでしょうか。

○学務課長

基本的に羅臼町教育大綱は羅臼町民憲章の考え方に基づいたものとなっていることから、子どもだけではなく、子どもから大人までということになります。

その中で大綱の中の3つの施策の柱である「地域と歩む持続可能な教育の実現」の中の、「子育て支援・家庭教育支援」やこまぐさ学級も含めて「団体支援」が項目として当てはまるものと考えております。

教育大綱を基に社会教育中期計画や子どもの読書活動推進計画などが策定されます。

○社会教育課長

社会教育長期中期計画において、個別具体の取組みについて計画され、こまぐさ学級も含めて羅臼町の高齢者のあるべき姿などが記載されていくという形になります。

○学務課長

別紙として、「外部評価委員会での羅臼町教育行政の点検・評価一覧表」を配布させ

て頂いておりますが、教育委員会が行う事務事業は毎年、外部評価委員会において評価・検証を行っており、一覧の中では過去3か年分の評価について掲載しております。

教育委員会が行う事務事業は今回改訂する教育大綱に基づくこととなりますので、お配りした一覧の中にある事業が大綱で定める3本の施策の柱の中に入ってくる事業となり、こまぐさ学級においても事業の中に含まれております。

大綱に基づき事務事業が行われ、外部評価委員会において評価と検証を行い、次年度以降の取組みに繋げるという流れになります。

○石崎教育長

現在の羅臼町教育大綱は道の「北海道総合教育大綱」に基づきながら策定されており、今回の羅臼町教育大綱の改訂についても、改訂に向け作業中となっている北海道総合教育大綱と、道議会で審議中である「北海道教育推進計画」をベースに北海道の取組みの方向性と一致させながら、羅臼町の取組みに落とし込んだ形への改訂となります。

○学務課長

教育大綱の確定は総合教育会議で行うこととなりますので、本日の教育委員会で内容について特に問題なければ、この後、町長に改訂案を示し、意見を確認した上で総合教育会議にかけたいと考えております。

総合教育会議に日程としては3月14日で調整中でありますので、現時点では教育委員会としては改訂案で問題ないという認識の上、総合教育会議にて改めて協議し、確定するという流れになりますのでよろしくお願い申し上げます。

○石崎教育長

議案第4号について、他にご意見、ご質問はありませんか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

それでは、議案第4号「羅臼町教育大綱の改訂について」は承認されました。

●議案 第5号 令和4年度一般会計予算補正について

○石崎教育長

続きまして、議案第5号「令和4年度一般会計予算補正について」、担当課長より説明をお願いします。

○学務課長

議案第5号「令和4年度一般会計予算補正について」、ご説明いたしますので、議案2ページをご覧ください。

本議案の内容につきましては、令和4年度一般会計予算の歳出及び歳入の予算補正として令和5年3月の羅臼町議会第1回定例会へ上程されることとなっております。

一点目は、歳出8款 教育費 1項 教育総務費 3目 義務教育費 17節 備品購入費で、教科書・指導書に要する経費として、773千円の減額補正となっております。

内容としましては、令和4年度に小学校、中学校それぞれにデジタル教科書を導入するために予算計上しておりましたが、導入予定であった教科書の内、英語、国語、書写のデジタル教科書が文科省より提供されたことから、町予算からの支出が不要となりましたので執行残が生じたことから予算減額とするものです。

二点目は、歳出8款 教育費 1項 教育総務費 4目 職員厚生費 14節 工事請負費で、教職員住宅の管理に要する経費として、5,538千円の増額補正となっております。

内容としましては、令和5年1月26日の暴風雪により海岸町教職員住宅の屋根の一部が吹き飛ばされたことから補修工事に要する経費として予算増額とするものです。

また、補修にあたり、吹き飛ばされた箇所の一部張替も検討し、見積書を徴取したところ1,005,482円の見積り額でありましたが、当該住宅は公共施設長寿命化計画により令和6年度に屋根全面の張替え工事を予定おり、計画の前倒しとなりますがこのタイミングでの全面張替えを行うものであります。

なお、被害があった屋根の一部張替分の補修費用の1,005,482円と応急処置に要した費用の424,000円の2分の1の費用である714,000円が町有物件災害共済金の対象となることから、歳入予算の諸収入の内、全国自治協会建物災害共済金の増額補正を併せて行うものであります。

続きまして、議案の3ページをご覧ください。

三点目は、歳出8款 教育費 1項 教育総務費 6目 教育支援費の補正であります。8節 旅費で354千円、10節 需用費で952千円、11節 役務費で250千円、18節 負担金補助及び交付金で12,585千円をそれぞれ予算減額とするものです。

内容としましては、羅臼高校の全国公募にかかるPRに関する費用として予算計上しておりましたが、令和4年度は道内外の全国公募を行っている高校視察による現状調査のみ行いましたので、旅費、PR 物資作成費用等の需用費、作成した物資の送料等の

役務費の執行残である合計 1,556 千円の減額するものです。

また、負担金補助及び交付金の予算減額については、高校魅力化補助金の執行残となっており、内訳としましては、令和 4 年度の新入学制に対する PC 贈呈費用として単価減少により 149,100 円の減額、学習アプリの導入費用として団体割が適用されたことにより 618,240 円の減額、専門書購入助成費用として事業確定により 400,000 円の減額、講習会受講助成費用は受講者した生徒がいなかったことから全額 590,000 円の減額、海修学旅行助成費用として 10,723,893 円の減額となっており、海外への修学旅行を見込んでおりましたが高校において国内旅行へ切り替える判断をしたことから大幅に減額、海外留学助成費用として 2 名程度の参加を見込んでおりましたが、今年度は生徒 1 名と同行する教員 1 名の参加が計画されており、350,000 円を減額、部活動助成費用として事業確定により 54,245 円の予算減額となっております。

なお、国公立大学入学祝金として一人あたり 300 千円の祝金を予算計上しておりましたが、国公立大学入学者が 2 名となったことから、こちらにつきましては総額 600 千円の支出となりますが、高校魅力化補助金総体では 12,585 千円の予算減額となります。

教育支援に要する経費として、全国公募及び高校魅力化補助金の総計として 14,141 千円の予算減額とするものです。

四点目は、歳出 8 款 教育費 2 項 小学校費 1 目 学校管理費 10 節 需用費で、小学校の管理に要する経費として、1,532 千円の増額補正となっております。

内容としましては、暖房等で使用する灯油の使用量増加に伴い、燃料費として 1,202 千円の増額、電気料金の単価が上がり続けている影響により予算不足となる見込みであることから、光熱水費として 330 千円の予算増額とするものです。

引続き、議案の 4 ページをご覧ください。

五点目は、歳出 8 款 教育費 3 項 中学校費 1 目 学校管理費 10 節 需用費で、小学校の管理に要する経費として、1,189 千円の増額補正となっております。

内容としましては、小学校費と同様、電気料金の単価アップにより予算不足が見込まれることから、光熱水費として 1,040 千円の増額に加え、校内の燃料供給用のポンプが故障したことから、修繕費として 149 千円の予算増額とするものです。

○社会教育課長

引続き、社会教育関連の予算補正についてです。

一点目は、歳出 8 款 教育費 5 項 社会教育費 4 目 文化財保護調査費 12 節 委託料で、郷土資料館に要する経費として、264 千円の減額補正となっております。

内容としましては、今年度、郷土資料館内に Wi-Fi 設備を整備したことに伴い、併せて保守管理委託を計画しておりましたが、経費節減の観点から業務委託を取りやめたものであります。

二点目は、歳出 8 款 教育費 6 項 保健体育費 1 目 保健体育費 18 節 負担金補助及

び交付金で、その他スポーツ振興に要する経費として、450千円の減額補正となっております。

内容としましては、新型コロナウイルス感染症の影響による各種大会の中止に伴い、クナシリ眺望駅伝競走大会補助金として300千円、根室管内スポーツ交歓大会補助金として150千円をそれぞれ予算減額とするものです。

三点目は、歳出8款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育館費 12節 委託料で、体育館管理運営に要する経費として、3,000千円の減額補正となっております。

羅臼町民体育館らうすばは、総合型地域スポーツクラブがいずが指定管理者として管理しており、令和3年度事業実績の報告があり、管理の体制として当初は4名体制が見込まれていましたが、退職等の理由により実質3名体制での運営となったことから人件費に多額の余剰金が生じたとのことでありましたので、協議の上、余剰金を令和4年度の委託料で清算することとし、今年度の予算減額とするものです。

続きまして、議案の5ページをご覧ください。

四点目は、歳入2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費 12節 積立金で、その他一般行政に要する経費として、2,000千円の追加補正となっております。

内容としましては、図書館の蔵書充実や知床未来中学校の学校図書館の蔵書充実のため1社から2,000千円のご寄付を頂きましたので、基金に積み立てるものです。

以上です。

○石崎教育長

議案第5号「令和4年度一般会計予算補正について」、ご意見、ご質問はありませんか。

○佐々木委員

議案の3ページの教育支援に要する経費のうち、修学旅行に関する減額補正について確認で、高校として令和5年度は海外への修学旅行を計画しているのでしょうか。

○学務課長

今年度、羅臼高校として海外への修学旅行を行わないと決定し、次年度以降も海外への修学旅行は行わないということで確認しています。

○佐々木委員

補正額を示して頂いておりますが、当初予算額について確認したい。

○学務課長

教育関係者合同会議の際に関係者のみなさまに予算についてお示しさせて頂いてお

り、内訳までは掲載されておられません。

修学旅行の助成に関する費用は概ね 12,000 千円が予算計上されておりました。

○佐々木委員

修学旅行に関してはほとんど執行されていないが、海外から国内に旅行先を替えたことによる影響でしょうか。

また、修学旅行に関して羅臼高校の生徒の保護者負担はどの程度でしょうか。

○学務課長

海外から国内に替えた影響が大きい。

保護者負担については、若干の変動はありますが概ね 12 万円程度となっております。

町からの補助は 12 万円を上回る部分を補助することとしておりますので、例えば、例年であれば国内 3 泊 4 日の日程で 12 万円程度となっているところを、高校として旅程を伸ばし 1 泊増やすということであれば、通常かかる 12 万円を超える部分を補助するという形になります。

○萬屋委員

議案 4 ページの体育館の部分で、令和 3 年度は 4 名体制を計画していたが 3 名体制になってしまったとのことですが、それ以降も 3 名体制のままなのでしょうか。

○社会教育課長

職員募集を行い、現在は 4 名体制で運営しております。

○佐々木委員

郷土資料館の Wi-Fi は職員の方が保守管理しているということで間違いないでしょうか。

管理に支障はありませんか。

○社会教育課長

特に問題はなく、機器自体も新しいためトラブルが発生する可能性も少なく、発生したとしてもメーカーへの修理依頼で対応可能であると考えております。

従って、令和 5 年度の予算についても管理委託料は計上しておりません。

○石崎教育長

高校支援に要する経費で多額の減額補正がありますが、今年度から開始した事業となっておりますので、来年度以降、整理しながら進めて参ります。

議案第5号について、他にご意見、ご質問はありませんか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

それでは、議案第5号「令和4年度一般会計予算補正について」は承認されました。

●報告第3号 諸会議・諸行事について

○石崎教育長

続きまして、報告第3号「諸会議・諸行事について」、担当課長から説明をお願いいたします。

○学務課長

報告第3号「諸会議・諸行事について」ご説明させていただきますので、議案の6ページをご覧ください。

諸会議・諸行事について報告するものでございます。

議案の7ページをご覧ください。

2月から4月の学務課の所管行事を掲載しております。

2月10日に羅臼高等学校の連携型入試が行われ、知床未来中学校の卒業生が41名のうち、18名が受験し、全18名に対し2月17日に内定通知が出ております。

2月28日には羅臼高校卒業生のうち、国公立大学合格者に対して入学祝金の贈呈を実施予定としております。

3月1日に羅臼高校、13日に知床未来中学校、17日に両幼稚園、22日に両小学校の卒園式及び卒業式が挙行され、24日に幼、小、中、高が修了式を向かえます。

4月3日に教職員辞令交付式、4月18日に教育関係者合同研修会がそれぞれ行われる予定となっておりますので、委員の皆さまのご出席についてお願いいたします。

私からは以上です。

○社会教育課長

続きまして、社会教育課所管事業です。

2月22日に「知床キッズ」、26日に「子ども会 かるた・フロアカーリング大会」がそれぞれ予定されております。

議案の9ページをご覧ください。

3月17日にスポーツ推進委員会議、20日に社会教委委員の会兼図書館協議会、24日に学校運営協議会、27日と28日に学校開放運営委員会が予定されております。

なお、本日18時より臨時の社会教育委員の会を開催し、図書館の実施設計の進捗状況について報告することとなっております。

次に、図書館所管事業です。

2月28日と3月1日に「本との出会い公演会」を春松幼稚園と羅臼幼稚園それぞれで開催予定となっております。

次に、郷土資料館所管事業です。

3月4日に、北海道博物館のご協力を頂き、北方領土に関する内容を中心に「郷土資料

館公開講座」を開催予定としております。

以上です。

○石崎教育長

報告第4号について、ご意見、ご質問はございますか。

○佐々木委員

春松幼稚園の保護者懇談会が開催されているとのことですが、内容についてお聞かせください。

○学務課長

2月28日に新年度に年中組となる羅臼幼稚園の保護者との懇談会をもって、ひとまず対象となる保護者の方への説明は終わるところです。

それぞれの懇談会の中で、「春松地区の児童生徒数が減少傾向であり、小学校で複式学級となる可能性がある。」という説明をさせて頂いており、羅臼幼稚園の保護者からは「統合したほうがいいのではないか。」という声も出ております。

春松小学校の年少、年中組の保護者からは「複式学級と単式学級の違いについてイメージがわからない。」という意見を頂戴したところです。

羅臼幼稚園、春松幼稚園どちらの保護者からも、「スクールバスは必要。しっかりと整備してほしい。」という要望があげられており、統合の場所については現在通園している地区での統合を希望する保護者がやはり多いという印象です。

また、春松幼稚園の保護者から、「幼稚園と小学校の繋がりがしっかりとしており、スムーズに小学校に進むことができる。」という声があり、教育委員会としても春松幼稚園と春松小学校の連携は望ましい形であることを伝えたところですが、両幼稚園の保護者はお互いの幼稚園の状況が分からないことから、こちらについてもイメージができていないという状況でした。

教育委員会としては、複式学級と単式学級のイメージや両幼稚園の運営について、全児童が入学時に普通学級となる訳ではないという状況についても保護者の方々に理解してもらうことが必要だと感じております。

なお、懇談会の中では「羅臼高校の存続」についても触れさせて頂き、保護者からは、「選択するかどうかわからないが、選択肢としては残してほしい。」という意見が出ておりました。

○横澤主幹

羅臼幼稚園の保護者の方には小学校のみの統合をイメージしている方がおり、「小学校の統合であれば、春松でも羅臼でもどちらでも構わない。」という雰囲気がありまし

たが、事務局から「幼稚園と小学校あわせての統廃合が検討される。」という説明をしたところ、「それであれば羅臼幼稚園に統合してほしい。」という意見が出ました。

その背景にはやはりバスの問題があり、園児を長時間バスに乗せて春松まで通園させるということに不安を感じている方が多くいるように感じました。

○学務課長

春松幼稚園に統廃合した場合、海岸町や岬町側の園児のバス通園には市街地での乗り換えが伴うため、その点についても不安を感じている保護者が多いです。

統廃合を行う際には、少なくとも幼稚園児のバス通学で乗り換えが生じない方法の検討が必要だと感じております。

これまでの教育委員会の中でもお話させて頂いておりますが、バスの台数自体は一定数確保出来ていますが、運転手がないという状況が課題となっています。

○葛西委員

この度の懇談会で、両方の地区の保護者の方から意見をもらうことができましたが、統合先として「羅臼がいい。」「春松がいい。」という地域的な意見を 100%反映させるのは無理であるため、難しい問題ではありますが、私たちが意見を整理しながら結論を出していかなければならない。

頂いた意見を基に、施設関係などのハード面や通園通学手段などのソフト面の課題を整理しながら、今後も継続して保護者の皆さんに状況を伝え続けることが大事だと感じています。

仮にですが、小学校を羅臼小学校に統合した場合、校舎は長期間使用できる状況でしょうか。

○学務課長

校舎は特に問題なく、教室の数も多いことから十分使用できると考えていますが、空き施設なる学校を公共施設として使用するというのを念頭に入れた場合には、施設の利便性を検討しながら進めていく必要があります。

また、教室数に関しては令和6年度以降の児童生徒数であれば、どちらの校舎でも対応できる状況です。

○佐々木委員

こちらも仮にですが、春松小学校に統合した場合は駐車場の広さや動線も検討しなければならないように思います。

羅臼地区の児童生徒の送り迎えが増えるとすれば広さ的にも不足する気がします。

○学務課

春松地区に統合した場合、幼稚園と小学校の駐車場は分けて整備するなどの検討が必要になると感じており、例えば現在の駐車場は幼稚園で使用し、グラウンドとしての整備を春松中学校跡地まで広げ、小学校校舎側に新たに駐車場を整備するなどの方法はあると思いますが検討が必要です。

いずれにしても、統合後の駐車場としては現在のままでは狭いという認識です。

○石崎教育長

議案第3号について、他にご意見、ご質問はありませんか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

それでは、報告第3号「諸会議・諸行事について」は承認されました。

以上で議事を終了いたします。

【その他】

●教育指導主幹通信について

○石崎教育長

引続き、その他として「教育指導主幹通信について」報告をお願いいたします。

○横澤主幹

別紙の教育指導主幹通信をご覧ください。

今年も3月11日が近づいてまいりましたが、間もなく東日本大震災から12年を迎えようとしております。

今の小学校6年生が2010年から2011年生まれですので、ほとんどの小学生にとってはこの震災を知らない、また、中学生でも記憶が薄いという世代となりますので、震災について風化させないため学校教育の中でも振り返る必要があると感じております。

今回の主幹通信では2013年の中学生を対象として「北方領土に関する全国スピーチテスト」で発表された、福島県の中学生のスピーチが非常に印象的であったことから紹介させて頂いております。

別紙、「教育指導主幹通信」の内容を説明

主幹通信の最後に2月3日に行った、令和4年度学力向上推進事業「第2回組織力強化会議」の内容をまとめておりますので、後ほどお目通し願います。

以上です。

○石崎教育長

ただいまの報告について、ご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

その他、事務局より連絡及び報告事項などはありますか。

○学務課長

お願いいたします。

別紙、「道教委による市町村名を明らかにした公表の基本フォーマット」をご覧ください。

昨年12月の教育委員会において体力テストの公表について委員のみなさまに同意を

頂いておりました件について、当町の具体的な掲載内容が確定しましたので提供させていただきます。

内容については主幹より説明いたします。

○横澤主幹

内容についてご説明いたします。

結果のみ端的に申し上げますと、小学校、中学校ともに女子のテスト結果が良好であったという結果が出ております。

全国平均と比較しますと、小学校女子が全国平均を上回る結果となっており、小学校男子、中学校の男女が平均を下回っておりますが、管内的には比較的良好な結果だったと思っています。

教育局の分析にもありますが、当町は全小中学校でタブレットによる動画撮影を行い指導に繋げているという点が評価されております。

以上です。

別紙、「道教委による市町村を明らかにした公表の基本フォーマット」の内容を説明

○石崎教育長

ただいまの報告について、ご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

その他、事務局より連絡及び報告事項などはありますか。

○学務課長

二点目をお願いします。

別紙、「各学校等『卒業式（入学式）』の対応等について」をご覧ください。

冒頭、行政報告でもありましたが、式典でのマスクの着脱や健康観察などについてまとめており、羅臼町としては道教委の通知に準じる対応としております。

次のページ以降、町内の幼小中高及び中標津支援学校の卒園式、卒業式、入園式、入学式の日程、会場の予定を掲載しており、それぞれの祝辞及び祝電対応にいてまとめておりますのでご確認願います。

なお、卒業式と卒園式への来賓の案内なく、入学式と入園式は挨拶等を含めて対応について未定となっておりますので、次回の教育委員会において報告できればと思います。

以上です。

別紙、「各学校等『卒業式（入学式）』の対応等について」の内容を説明

別紙、「令和4年度卒業式及び令和5年度入学式の対応等について」の内容を説明

○石崎教育長

ただいまの報告について、ご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

その他、事務局より連絡及び報告事項などはありますか。

○学務課長

最後にもう一点お願いします。

「令和4年度教育委員及び校長合同研修会」を3月23日の15時から、大地みらい信用金庫2階会議室で予定しており、研修会后、18時から教育委員、校長、園長での懇親会を予定しております。

現在、調整中でありまして後日ご案内させていただきます。

私からは以上です。

○石崎教育長

ただいまの報告について、ご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

その他、事務局より連絡及び報告事項などはありますか。

○社会教育課長

引き続き、ご報告させていただきます。

この後、図書館移転先である旧釧路信用組合羅臼支店の現地視察を行う予定となっておりますが、現地へ行く前に実施設計業者より平面図の提出がありましたので、経過と進捗状況について改めてご報告させていただきます。

移転にあたり基本設計までは増築や外観整備など図書館基本構想や利用者からの意見を最大限反映させた大幅な改修計画で進んでおりましたが、基本設計で概算工事費が示され、庁舎内での協議の結果、物価や工事費の高騰、加速する少子化による幼稚園や小学校の適正配置計画の見直しによる空き施設の活用の検討、新たな図書館のサー

ビス内容や必要となる人員配置などの状況を考慮し、実施設計においては、「住民のための読書施設という役割」を重視し、工事費を極力抑えた移転改修工事を行うことに方向転換をしたところです。

改修内容について説明いたしますので、平面図をご覧ください。

施設については平成 11 年に建てられ、今年で 24 年目を迎えることから、更新時期を迎える暖房設備をエアコンに入れ替えることや、公共施設化に伴う多目的トイレと授乳スペースの設置、照明設備の LED 化、図書館として書架の荷重に耐えうる床面の補強を図ることを主な改修内容といたします。

平面図の⑮、⑯の印の箇所は金融機関であった際の金庫室となっており、図面上は壁を作り金庫室が見えないように設計されていますが、町としては金融機関の面影を残すことを良しとして、金庫の扉はそのまま活用したいと考えております

金庫室については閉架書庫スペースと作業スペースとして活用予定となっており、中を確認できるようにすることで、開架されている図書があることや、傷んでしまった本の修復作業を知って頂けると考えております。

要望が多かった学習スペースについてですが、図面上では金庫室手前の⑦の位置に設計されておりますが、海側に設置されておりますドリンクスペース付近への配置変更のご意見を頂きましたので、全体のゾーニングや動線の確認を含めて設計業者に検討を依頼中となっております。

次にドリンクスペースですが、現在テーブル席のみとなっておりますが、一人での利用者がゆったりと過ごすことができるよう、海側にカウンターを設置するよう依頼しております。

次に書架についてですが、耐震用の書架を新たに設置し、ボルトで床に固定します。

基本的には工事費を抑えるため、1階部分のみ改修したいと考えておりますが、2階部分の平面図の⑱、⑲の印がある部屋を、子育て世代向けに小上がりがある読み聞かせスペースとして改修し、階段を上がってすぐの壁を抜いての拡張を考えております。

館内の床面と壁面は新たに生まれ変わる施設ということで、見える範囲はすべて張替を予定しております。

2階にある既存の書庫は閉架書庫として活用し、改修後の図書館全館で開架、閉架あわせて 2 万 5 千冊から 3 万冊程度の蔵書数となる見込みで、参考までに現在の役場内の図書館では 1 万 4 千冊の開架冊数となっております。

なお、図書館に配架できていない本については町内の複数の公共施設に保管中です。以上が改修工事の主な内容となります。

当町はゼロ・カーボンシティを目指す町ですので、省エネ化のため太陽光パネルの設置や温泉熱利用について検討をしましたが、多額の工事費に対する効果が満足なものではなく、また、施設全体の改修をしなければ効果が見込まれないという検証結果であったことから、今回の改修においては省エネ化を断念した次第です。

今回の実施設計はあくまでも、「住民の読書施設という役割」を重視した図書館を目指すものでありますので、中途半端な工事は極力避けるべきと判断したところです。

基本設計は様々なご意見や要望を取入れましたが、実施設計においては割り切った内容となりましたことに対しましてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

引き続き、館内サービスについてです。

開架スペースは、平面図のとおり1階のみとなり、書架の配置間隔を広くとっていることから開架冊数としては約1万7千冊から2万冊となる予定で、ゆったりとした空間で本を手にとって頂く空間設計を優先しております。

また、本が魅力的に映るような図書の紹介にも工夫し、図書司書のレファレンスサービス、蔵書検索システムの活用により、利用者の満足度の向上を図ります。

工事費については現在積算中であり、正式な金額は出ておりませんが、概ね5千万円から6千万円前後を想定しており、令和5年度当初予算には計上せず、令和5年羅臼町議会第2回定例会での予算補正を予定しており、議決後、現時点では7月中旬から11月末までの工期を考えております。

完成後、引っ越し作業などを行い、年明けを目途に令和5年度中のオープンを考えております。

最後に、新図書館の運営体制については、図書館司書2名、会計年度任用職員2名の4名体制で運営してまいりたいと考えております。

実施設計完了前につき、平面図のみの説明資料となりますが進捗状況の説明とさせていただきます。

会議終了後、現地視察を行いますので平面図を確認しながらイメージして頂ければと思っており、質疑につきましては現地で承りたいと考えております。

以上です。

○石崎教育長

出発前に確認したいことはありません。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

これで予定されていた議事は終了となります。

引き続き、現地視察についてよろしく願いいたします。